

持続可能な社会（ESD）づくりの構成概念

I 多様性【いろいろある】

自然・社会・文化・経済は、期限・性質・状態などが異なる多種多様な事物（ものごと）から成り立ち、それらの中では多種多様な現象（出来事）が起きていること。

II 相互性【関わりあっている】

自然・社会・文化・経済は、互いに働き掛け合い、それらの中では物質やエネルギーが移動・循環したり、情報が伝達・流通したりしていること。

III 有限性【限りがある】

自然・社会・文化・経済は、有限の環境要因や資源（物質やエネルギー）に支えられながら、不可逆的に変化していること。

IV 公平性【一人一人大切に】

持続可能な社会は、基本的な権利の保障や自然等からの恩恵の享受などが地域や世代を渡って公平・公正・平等であることを基盤にしていること。

V 連携性【力を合わせて】

持続可能な社会は、多様な主体が状況や相互関係などに応じて順応・調和し、互いに連携・協力することにより構築されること。

VI 責任制【責任をもって】

持続可能な社会は、多様な主体が将来像に対する責任あるビジョンをもち、それに向かって変容・変革することにより構築される。

持続可能な社会（ESD）で重視する能力・態度

① 批判的に考える力

合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力

② 未来を予測して計画を立てる力

過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力

③ 多面的、総合的に考える力

人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的・総合的に考える力

④ コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力

⑤ 他者と協力する態度

他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・共同してものごとを進めようとする態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度

⑦ 進んで参加する態度

集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごと主体的に参加しようとする態度



阿蘇青少年交流の家の活動プログラムでは、

① 持続可能な社会（ESD）づくりの構成概念

② 持続可能な社会（ESD）で重視する能力・態度

を大切にして職員は指導に当たります！

活動プログラムにおける ESDづくりの構成概念とESDで重視する能力・態度との関連

活動名（ESDづくりの構成概念 ESDで重視する能力・態度）

1 野外活動

- (1)登山 (I ③)
- (2)OL(オリエンテーリング) (V ⑤)
 - 雨天時①：室内ビンゴ (V ④)
 - 雨天時②：館内OL (V ④)
- (3)水基巡り・フィールドビンゴ (II ⑥)
- (4)サイクリング (V ④)
- (5)ハンターゲーム (IV ④)
- (6)阿蘇検定オリエンテーリング (V ④)
- (7)沢登り・沢遊び (IV ⑥)
- (8)星座観察 (I ⑥)
- (9)ナイトハイク (V ⑤)

2 交流活動

- (10)キャンドルのつどい (IV ⑦)
- (11)キャンプファイヤー (IV ⑦)

3 創作活動

- (12)プラホビー (I ②)
- (13)竹とんぼ・木とんぼ・色鉛筆 (I ②)
- (14)勾玉 (I ②)
- (15)マイ箸 (I ②)
- (16)焼き板 (III ②)
- (17)押し花コースター (III ⑦)

4 野外調理

- (18)野外調理の手引き (VI ③)

5 ニュースポーツ等

- (19)ASOびんピック (IV ⑤)
- (20)ディスクゴルフ (V ⑦)
- (21)ペタンク (V ①)
- (22)キンボール (V ④)
- (23)各種スポーツ
 - グラウンドゴルフ フロアホッケー

6 チャレンジゲーム

- (24)チャレンジゲーム (V ②)

7 ジオパーク学習プログラム

- (25)ジオパーク学習プログラム (II ②)

8 阿蘇防災学習

- (26)阿蘇防災学習プログラム (VI ①)
- (27)防災クラフト(アマガキカトル) (VI ⑥)
- (28)防災食プログラム(火器使用) (VI ①)
- (29)防災食プログラム(火器不使用) (VI ①)

9 幼児の運動プログラム

- (30)大玉相撲 (IV ⑥)
- (31)こども忍者修行 (V ④)

10 自然体験活動ゲーム

- (32)自然体験ゲーム (II ③)

11 SDGsプログラム (III ③)